

☆☆☆☆

---

Knots Club News 京都動物フォーラム 2025 特集号

<https://knots.or.jp> 2025.3.21 発行

Knots 事務局

TEL: 050-3702-8058 (月・水～土 9:00～17:00／火曜日・日曜日は休業)

FAX: 050-3730-0738

メール：[info@knots.or.jp](mailto:info@knots.or.jp)

Knots YouTube <https://www.youtube.com/@knotspiia5802>

☆チャンネル登録お願いします☆

---

☆☆☆☆

神戸や明石ではイカナゴのくぎ煮作りで春の訪れを感じていたのですが、昨年続き今年も不漁のようです。イカナゴがすっかり高級魚になってしまいました。

#### 【京都動物フォーラム 2025】

公益社団法人京都市獣医師会が主催する、京都動物フォーラム 2025 が開催されます。

Knots は協賛させていただいており、犬用おやつ「あったらいいなシリーズ」販売での出展をいたします。

日時：2025 年 3 月 23 日 (日) 13:00～17:00

会場：梅小路公園七条入口広場 (入場無料・ペット同伴可能)

<プログラム>

#### 《ステージ》

- 働く動物の紹介 (盲導犬・警察犬)
- うちの子ペット自慢川柳コンテスト
- パネルディスカッション「学校飼育動物と動物教育について」
- Para-sports Festa for Animals の紹介

#### 《マルシェ》

- 獣医師体験教室
- クイズラリー
- 動物譲渡会説明会 (フォスターブリッジ／京都動物愛護センター)
- 獣医師相談コーナー
- Para-sports Festa for Animals (シニアケアや車いすの相談会)

など

最新の情報がたくさんの方のフォーラムです。

皆さま、是非ご来場ください。

詳細は以下のリンクよりご覧ください。

<https://www.kyoto-shiju.or.jp/forum2025/>

#### 【書籍発刊のお知らせ】

当法人理事の小椋聡が出版する書籍が発刊されます。

『わたしたちはどう生きるのか —JR 福知山線脱線事故から 20 年 (JR 福知山線脱線事故 + 東日本大震災・大川小学校)』

4月25日で、兵庫県尼崎市で発生したJR福知山線脱線事故から20年が経過します。事故車両の2両名に乗車していた小椋理事が、東日本大震災・大川小学校で78名の児童が津波に流され、4名だけが生存したうちのお一人である只野哲也さん(当時5年生・現在25歳)や、それぞれの事故・災害を取材し続けた多数の大手報道関係者、加害企業であるJR西日本で被害者対応の部署で勤務しておられた元社員、首都圏の公共交通を担う東京メトロなどと共に、多角的な視点で「生きるとは」「いのちとは」「人が人に寄り添うとは」という普遍的なテーマを掘り下げた一冊になっています。

これまでの経緯は下記のサイトでご確認いただき、同サイトかアマゾンでご予約ください。

<https://kotonno-design.com/fukuchiyama20years/>

【「第3弾！世界のクマ研究最前線 | 地球の未来をクマの生態から読み解く」クラウドファンディングに挑戦中！】

坪田敏男先生(北海道大学大学院獣医学研究院教授/北海道大学総合博物館長)が、クラウドファンディング「第3弾！世界のクマ研究最前線 | 地球の未来をクマの生態から読み解く」の挑戦を開始されています。

<坪田敏男先生より>

「人とクマとが共に生きられる環境を未来に残すため、本プロジェクトでは、世界のクマ類の生理や生態に関する研究を若手研究者や大学院生・学部生とともに推し進めてまいります。また、それらの研究から得られる科学的情報をわかりやすく発信し、皆さんと共に、森の象徴であるクマとその生息環境の保全を進めていきます。」

第一目標金額：500万円

支援募集期間：2025年3月10日(月)9:00～2025年4月18日(金)23:00

クラウドファンディングの支援の詳細やこれまでの活動報告等は以下のリンクよりご確認

ください。

<https://readyfor.jp/projects/bearconservation2025>

【(株) ウィル様による介助犬支援活動の紹介】

3月14日は、介助犬シンシアの命日でした。

宝塚に本社を置く、株式会社ウィル様では、同じ市内で活動していた介助犬シンシアをきっかけに介助犬の支援活動を行っています。

[https://www.wills.co.jp/corp/service\\_dog/](https://www.wills.co.jp/corp/service_dog/)

※補助犬の公的認知及び法的整備に向けての取り組みのシンボルとして大きな役割を果たした、介助犬シンシアは、1996年7月～2005年12月まで介助犬として活動し、2006年3月14日に亡くなりました。

♪お読みいただきありがとうございました。♪